

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援ベルテール木更津みなと園		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動の他、個別課題に取り組む時間を児童全員へ取り入れている。	・専門職の他、個別課題の担当者を決めている。 ・担当者が、職員がローテーションしながら児童の個別課題を支援出来るよう考えている。内容はFBの時間を設け、職員全員で課題内容を立案している。	・現在取り組んでいることを継続していき、事業所の特徴として宣伝が出来るようにしていく。 ・当事業所内だけでなく、他園との中で療育内容の共有を図れたら質の向上になるのではないかな。 ・経験だけでなく、職員の資格取得など加算等も見据えた職員の質の向上をしていきたい。
2	商業施設内に事業所がある。	・買い物外出や公共施設の使い方などを取り入れ、LSTに繋がる支援が出来ている。 ・店長会や業種部会に参加したり、パンフレット設置を行い事業所の宣伝を行っている。	・商業施設内でイベントに参加出来るものや協力してもらえることなどを考案し、地域交流を図れるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育室内の環境設備について。	・入口にある階段について、危ないと感じることがある。 ・部屋の上が吹き抜けになっている為、聴覚過敏な児童に対し配慮が難しい場面がある。	・玄関にあるすのこや階段について修正や保護マットを付けるなど職員間でいつまでに行うか決め、実施する。 ・吹き抜けに対しすぐの対応が難しい為、イヤーマフで対応している児童は継続、また、環境に慣れるよう声掛けと配慮をしていく。
2	送迎と受け入れられる小学校の設定について。	・重要事項に基づいた送迎地域では、半分为工場地帯と海に面している為送迎範囲や小学校範囲が限られてしまっている。	・送迎範囲について、営業時間が変更となった為送迎車3～4台から主に2台で行えるようになった。今後新規利用児童が入った場合でも2台で行えるよう送迎範囲を必ず考慮していく。 ・小学校の範囲について、現在1校に1人という状況が多い。再来年が小学校卒業とともに利用を終了する児童もあり、同時に学校数が減る予定の為少しずつ小学校の受け入れ範囲を限定し継続した利用が出来るよう今から考えていく。
3	欠席率について。	・平日や学休日において、家庭都合での欠席が多くみられる。	・保護者の意識づけとしてHUGにて固定利用で継続して利用していただく為をお願いしている。また、欠席があった場合は送迎時に振替のご案内や提示をしてもらうようお願いしている為継続していく。 ・保護者交流会の定期的な実施の継続。 ・児童数が少ない為、週2～3やスポット利用での新規児童を獲得していきたいようにする。